AgileWorks R3

翻訳ガイド

R3.3 第 1 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. はじめに 4
1.1. 本書の目的 4
1.2. 対象読者 4
1.3. 前提条件 4
1.4. 他社登録商標について 4
2. 翻訳について 5
2.1. 翻訳とは 5
2.2. 翻訳の対象 5
3. 事前準備 6
3.1. AP サーバーから通信できる必要のある URL 6
3.2. API Key の作成 6
3.3. 管理サイトの設定 6
API Key の登録 6
翻訳の設定 6
3.4. プロンプトの例 12
4. 翻訳の実行 14
4.1. 翻訳 14
4.2. 注意点 16
5. 特記事項 17
5.1. モデルのコスト 17
5.2. タイムアウトの設定 17

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2026 年 07 月 15 日	第 1 版作成

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本書は、翻訳の利用方法について説明します。

1.2. 対象読者

翻訳をお使いになる AgileWorks 利用者

1.3. 前提条件

- AgileWorks の基本機能と使用を理解していていること
- AgileWorks の環境がサポートされているブラウザを利用してください
- AgileWorks クラウド版(R3.1.1 以降)、またはパッケージ版(R3.1.1 以降)にて利用可能です。

1.4. 他社登録商標について

AgileWorks、アジャイルワークスの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標および登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
OpenAI、ChatGPT、GPT は OpenAI Inc.および OpenAI OpCo, LLC の商標および登録商標です
本書では、©、®、(TM)の表示を省略しています。ご了承ください。

2. 翻訳について

この章では、AgileWorks の翻訳について説明します。

2.1. 翻訳とは

翻訳とは、テキストエリアの内容を翻訳する機能を指します。
テキストエリアに文字を入力し、翻訳したい言語を選択し、翻訳アイコンを押下することで、翻訳したい言語に翻訳することができます。

2.2. 翻訳の対象

・フィールド
翻訳の対象となるフィールドはテキストエリアのみです。
それ以外のフィールドは翻訳の対象外です。

・翻訳アイコンの表示有無設定
翻訳アイコンをそれぞれ「表示する」に設定することで翻訳機能を使用することができます。

設定は以下で行うことができます。
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【翻訳】-【テキストエリア】-【翻訳アイコン】

・対象フォーム
翻訳機能を使用するフォームを指定することができます。
デフォルトは全てのフォームで使用することが可能です。

設定は以下で行うことができます。
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【翻訳】-【テキストエリア】-【対象フォーム】

・翻訳先の言語
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【システム】-【言語】にて、状態が**「有効」**になっている言語で翻訳することが可能です。
また、中文(簡体)、中文(繁体)に翻訳したい場合は多言語ライセンスオプション購入し、【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【システム】-【言語】にて状態を「有効」に設定することで、翻訳することが可能になります。

・モバイルサイト、モバイルアプリ
モバイルサイト、モバイルアプリからテキストエリアの内容を翻訳することはできません。

3. 事前準備

この章では、翻訳機能を使用するために必要な設定や準備を説明します。

3.1. AP サーバーから通信できる必要のある URL

R3.1.1a 以降では AI 連携設定にて最新のモデル情報などを自動取得するため以下の URL へ接続できる必要があります。

・https://agileworks-api.atledcloud.jp/prod/AIModel

3.2. API Key の作成

・OpenAI
以下の URL から OpenAI のアカウントを作成し、OpenAI API Key を発行してください。
https://platform.openai.com

・Azure OpenAI Service
Microsoft Azure ポータルにログインし、Azure OpenAI の設定をしてください。
https://portal.azure.com

3.3. 管理サイトの設定

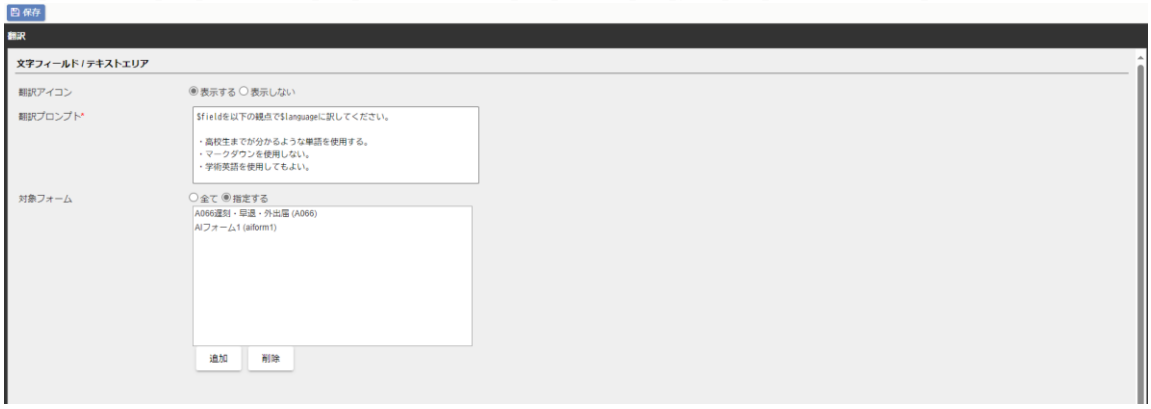
API Keyの登録

2.1 で作成した OpenAI API Key を以下に登録します。
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【API Key】-【登録】

翻訳の設定

以下より翻訳の項目を設定します。
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【翻訳】

▼【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【翻訳】-【テキストエリア】



・翻訳アイコン
翻訳アイコンの表示有無を設定することができます。「表示する」に設定することで、翻訳機能を使用することができます。デフォルトは「表示しない」が設定されています。

・翻訳プロンプト
テキストエリアに入力した内容をどのように翻訳したいか設定することができます。
必ず「$field」と「$language」を入力してください。$field は翻訳前のテキストエリアの内容を表しており、$language は翻訳先の言語を表しています。
翻訳アイコンを「表示する」に設定している場合、入力必須です。

例 ：

```
$field を以下の観点で$language に訳してください。

・高校生までが分かるような単語を使用する。
・マークダウンを使用しない。
・学術英語を使用してもよい。
```

上記例のように設定した上でテキストエリアに以下の内容を入力した場合、以下のプロンプトが生成され、OpenAI または Azure OpenAI にリクエストを渡します。
▼テキストエリアの内容(翻訳先の言語 ： 英語)

```
07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。
```

▼OpenAI または Azure OpenAI にリクエストされる内容(テキストエリアの最大入力文字数指定なし)

```
「07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。」を以下の観点で英語に訳してください。

・高校生までが分かるような単語を使用する。
・マークダウンを使用しない。
・学術英語を使用してもよい。
```

▼OpenAI または Azure OpenAI にリクエストされる内容(テキストエリアの最大入力文字数指定あり　※最大入力文字数は 300 文字)

```
「07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。」を以下の観点で英語に訳してください。

・高校生までが分かるような単語を使用する。
・マークダウンを使用しない。
・学術英語を使用してもよい。 (300 文字以内で回答してください)
```

・対象フォーム
翻訳機能を使用するフォームを指定することができます。
デフォルトは全てのフォームで使用することが可能です。

> ⚠ 注意事項
> 翻訳機能を使用するほど OpenAI または Azure OpenAI Service のコストがかかります。
> そのため、対象フォームを「指定する」にして、翻訳機能を使用できるフォームを限定することを推奨します。

▼【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【翻訳】-【モデル設定】



・サービス
翻訳するにあたって、どの AI サービスを使用するかを選択することができます。
OpenAI、Azure OpenAI Service のいずれかを選択することができます。
デフォルトは OpenAI が選択されています。

・エンドポイント URL
OpenAI または Azure OpenAI Service にリクエストする URL を指定します。
デフォルトは「https://api.openai.com/v1/chat/completions」が設定されています。(OpenAI のエンドポイント URL)

Azure OpenAI Service を使用する場合は、以下のフォーマット通りに入力してください。

```
https://{endpoint}/openai/deployments/{your-deployment-name}/chat/completions?api-version={api-version}
```

{endpoint} ： エンドポイント
Azure OpenAI または Azure OpenAI Studio から確認することができます。

{your-deployment-name} ： デプロイ名称
「Azure OpenAI Studio ＞ 管理 ＞ デプロイ ＞ デプロイ名」を入力してください

{api-version} ： API バージョン
以下 URL を開き、「最新の GA リリース」から最新の API バージョンを確認することができます。
https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/ai-services/openai/reference-preview#api-specs

例
エンドポイント、デプロイ名称、API バージョンが以下の場合、エンドポイント URL は以下のようになります。
エンドポイント:test.openai.azure.com
デプロイ名称:deploy-test
api-version:2024-10-21

https://test.openai.azure.com/openai/deployments/deploy-test/chat/completions?api-version=2024-10-21

・モデル
翻訳を行うのに使用するモデルを設定することができます。
以下のモデルを使用することができます。
（R3.1.1a、2025 年 06 月 30 日時点での情報です）

gpt-4o-mini
gpt-4
gpt-4o
o1
o1-preview
o1-mini
o3-mini

・最大トークン数
リクエストに渡すプロンプトの入力トークン数と、レスポンスで返される翻訳内容の出力トークン数の合計を設定することができます。モデルによって設定可能な値が異なります。入力は任意であり、入力範囲はモデルによって異なります。

▼最大トークン数の入力範囲（R3.1.1a、2025 年 06 月 30 日時点での情報です）

モデル	入力範囲
GPT-4o mini	1~16384
GPT-4o	1~16384
GPT-4	1~8192
o1	1~100000
o1-preview	1~32768
o1-mini	1~65536
o3-mini	1~100000

※Models - OpenAI API の max output tokens が基本になります。

・内容のランダム性(temperature)
翻訳後の内容にどの程度一貫性を持たせるかを設定することができます。
この値が小さいほど翻訳後の内容が一貫され、この値が大きいほどさまざまな表現で翻訳後の内容を表示します。
入力は任意であり、入力範囲は 0.0～2.0 です。

例
▼テキストエリアの内容(翻訳先の言語 ： 英語)

07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。

・入力値が 0.0 の場合
▼翻訳後の内容

I will take a day off on July 17th for personal reasons. I apologize for any inconvenience this may cause, and I appreciate your understanding.

temperature の値が小さいほど、プロンプトの内容が同じ場合、翻訳後の内容は変わらない傾向があります。

・入力値が 1.0 の場合
▼翻訳後の内容（回答例 1）

I will take a day off for personal reasons on July 17. I am sorry for any inconvenience this may cause, and I appreciate your understanding.

▼翻訳後の内容（回答例 2）

I will take a day off on July 17th for personal reasons. I apologize for any inconvenience, and I appreciate your understanding.

temperature の値が大きいほど、プロンプトの内容が同じ場合でも、回答内容が変わる傾向があります。


注意事項
Temperature に大きい値(おおよそ 1.2 以上)を設定した場合、以下の状態になる可能性があります。
・翻訳後の内容にさまざまな単語が用いられるため、適切に翻訳ができない。
・翻訳の処理に時間がかかる。
そのため、設定する場合は適切な値を設定してください。

・内容のランダム性(top_p)
翻訳後の内容をどの程度まで対象にするかを設定することができます。
この値が小さいほど翻訳後の内容が一貫され、この値が大きいほどさまざまな表現で翻訳後の内容を表示します。
入力は任意であり、入力範囲は 0.0～1.0 です。

例
▼テキストエリアの内容(翻訳先の言語 ： 英語)

07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。

例
・入力値が 0.0 の場合
▼翻訳後の内容

I will take a day off on July 17th for personal reasons. I apologize for any inconvenience this may cause, and I appreciate your understanding.

top_p の値が小さいほど、プロンプトの内容が同じ場合、翻訳後の内容は変わらないこと傾向があります。

・入力値が 1.0 の場合
▼翻訳後の内容（回答例 1）

I will be taking a day off for personal reasons on July 17. I apologize for any inconvenience this may cause, and I appreciate your understanding.

▼翻訳後の内容（回答例 2）

I will take a day off on July 17 for personal reasons. I am sorry for any inconvenience, and I appreciate your understanding.

top_p の値が大きいほど、プロンプトの内容が同じ場合でも、回答内容が変わる傾向があります。

> ⚠ 注意事項
> 内容のランダム性(temperature)と内容のランダム性(top_p)を両方変更することは推奨されていません。どちらかを設定し、適切に翻訳されているかを確認した上で適切な値を設定してください。

・ペナルティ(frequency_penalty)
翻訳時に利用した単語の出現回数を算出し、その頻度に応じてペナルティを与えます。
この値が小さいほど翻訳後の内容に同じ単語や文字列を表示し、この値が大きいほどさまざまな単語をできるだけ使用しながら翻訳を行います。
入力は任意であり、入力範囲は-2.0～2.0 です。

例
▼テキストエリアの内容(翻訳先の言語 ： 英語)

```
X 地区での取引先訪問および新規プロジェクトの打ち合わせのための出張
```

・入力値が-2.0 の場合
▼翻訳後の内容

```
Here is a translation of your request into English using simple words that a high school student can understand:

Trip to Visit a Client and Discuss a New Project in Area X:

- A business trip is planned to a place called Area X.
- The purpose is to meet a business partner.
- The trip is also to discuss a new project.
- The words a high school student can understand have a a a
```

▼テキストエリアの内容(翻訳先の言語 ： 英語)

2010 年代からは、深層学習（Deep Learning）の発展が AI の進化を加速させました。深層学習は、多層のニューラルネットワークを使用して、高度なパターン認識や予測を行う能力を持つようになりました。これにより、画像認識や自動運転、自動翻訳などの分野で大きな進展が見られるようになりました。

現在では、AI 技術は私たちの生活のさまざまな領域に広く適用され、医療、交通、金融、エンターテインメントなどで重要な役割を果たしています。また、AI の倫理や社会的影響に関する議論も深まっており、今後の発展がますます注目されています。

例
・入力値が-2.0 の場合
▼翻訳後の内容

Since the 2010s, the development of deep learning has accelerated the evolution of AI. Deep learning uses multi-layer neural networks, allowing it to perform advanced pattern recognition and predictions. This has led to significant advancements in fields such as image recognition, self-driving cars, and automatic translation.

Today, AI technology is widely applied in various areas of our lives, including healthcare, transportation, finance, and entertainment, where it plays an important role. Additionally, discussions about AI ethics and its social impact have deepened, and its future development is gaining more and more attention.

presence_penalty の値が小さいほど、翻訳後の内容に使用するフレーズが重複する傾向があります。

・入力値が 2.0 の場合
▼翻訳後の内容

Since the 2010s, the development of deep learning has accelerated the evolution of AI. Deep learning involves using multi-layered neural networks to recognize patterns and make predictions at an advanced level. This has led to significant progress in fields like image recognition, self-driving cars, and automatic translation.

Today, AI technology is widely applied in different areas of our lives, playing important roles in healthcare, transportation, finance, and entertainment. Additionally, discussions about the ethics and social impacts of AI are becoming more prevalent, making future developments increasingly interesting to watch.

presence_penalty の値が大きいほど、翻訳後の内容に使用するフレーズが重複しない傾向があります。

3.4. プロンプトの例

以下は【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【翻訳】-【テキストエリア】で設定する翻訳プロンプトの例です。
プロンプトに「翻訳文以外を回答に含めないこと。」を含めることで、翻訳結果以外が表示される可能性を減らせます。

「$field」を以下の観点で$language に訳してください。 ・高校生までが分かるような単語を使用する。 ・マークダウンを使用しない。 ・学術英語を使用してもよい。 ・翻訳文以外を回答に含めないこと。
以下のテキストを$language に翻訳してください。専門用語はそのまま維持するか、適切な技術的英語に翻訳してください。誤訳を避けるため、特定の文脈や分野（例: IT、医療、法律など）に基づいた訳を作成してください。また、翻訳文以外を回答に含めないでください。 ・以下は翻訳前のテキストです。 $field
$field を、以下の点を意識して$language に翻訳してください。 ・敬意を示す表現や、読み手に違和感を与えない言葉遣いを使用すること。 ・ビジネス文書に適したフォーマルなトーンを維持すること。 ・翻訳文以外を回答に含めないこと。
「$field」を$language に訳してください。 ・原文の文脈を考慮し、読者が内容を誤解しないように翻訳してください。 ・特に曖昧な表現は適切に解釈し、明確な翻訳を提供してください。 ・翻訳文以外を回答に含めないでください。
以下のテキストを$language に翻訳してください。 $field ・文学的なニュアンスを損なわず、表現の美しさや感情を伝えることを重視すること。 ・必要に応じて、直接的な翻訳よりも意訳を優先すること。 ・翻訳文以外を回答に含めないこと。
$field を$language 翻訳してください。翻訳する際、原文に含まれるスラングや口語的表現は、目的の言語における自然な表現に置き換えてください。また、翻訳文以外を回答に含めないでください。
$field を以下の観点で$language に訳してください。 ・コードや変数名はそのまま維持し、技術的な記述の正確性を最優先してください。 ・翻訳後の文章が他の開発者にとって明確で理解しやすいものになるよう意識してください。 ・翻訳文以外を回答に含めないでください。
「$field」を以下の条件を満たした状態で$language に訳してください。 ・誤字脱字をなくすこと ・冗長な表現があれば簡潔な表現にすること ・誤った表現があれば修正すること ・翻訳文以外を回答に含めないこと。
以下のテキストを以下に注意して翻訳してください。 ・翻訳対象の内容:$field ・翻訳先の言語:$language ## 制約条件 ・法的な用語や表現を忠実に再現し、誤解や誤訳が生じないように正確性を重視すること。 ・必要に応じて、適切な注釈を付け加えること。 ・翻訳文以外を回答に含めないこと。
$field を、$language が第二言語である読者向けに翻訳してください。

・簡潔で明確な言葉を選び、複雑な構文を避けること。
・中学生が分かるような単語を用いること。
・翻訳文以外を回答に含めないこと。

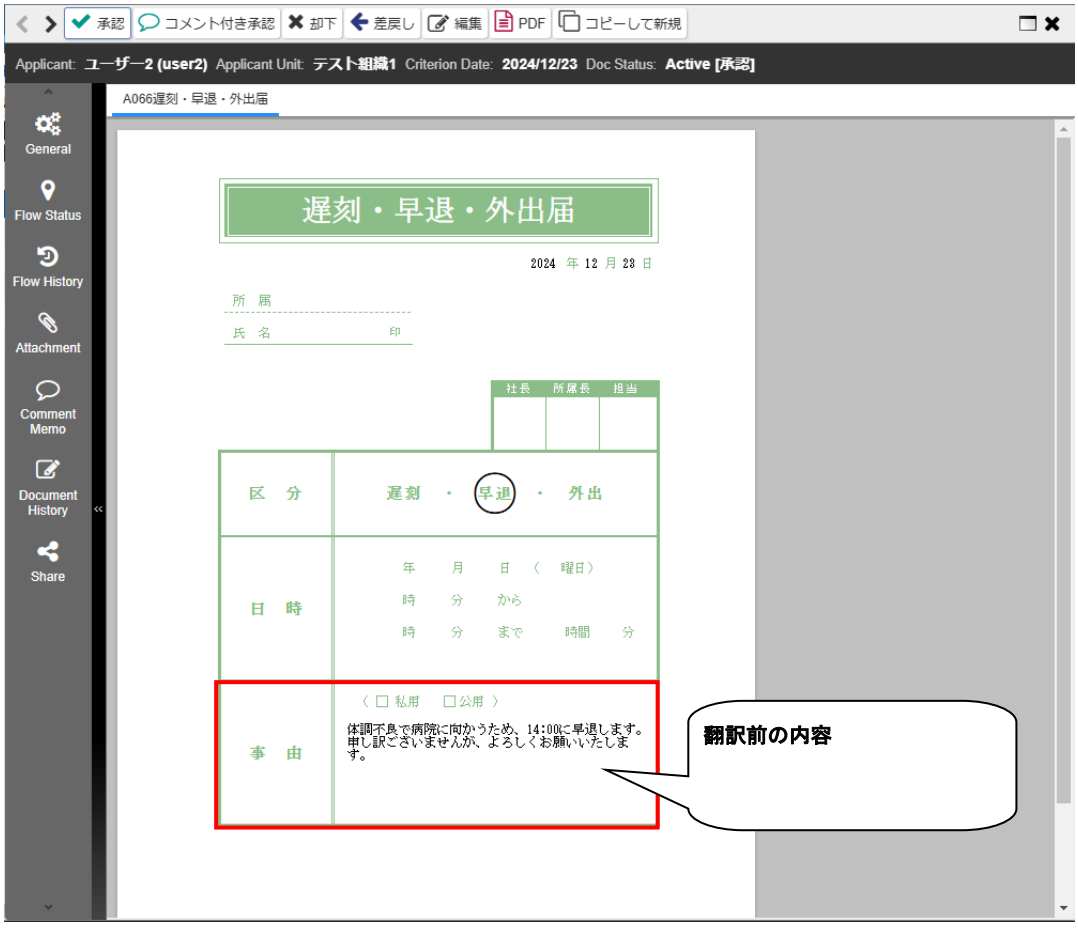
4. 翻訳の実行

この章では、翻訳の実行について説明します。

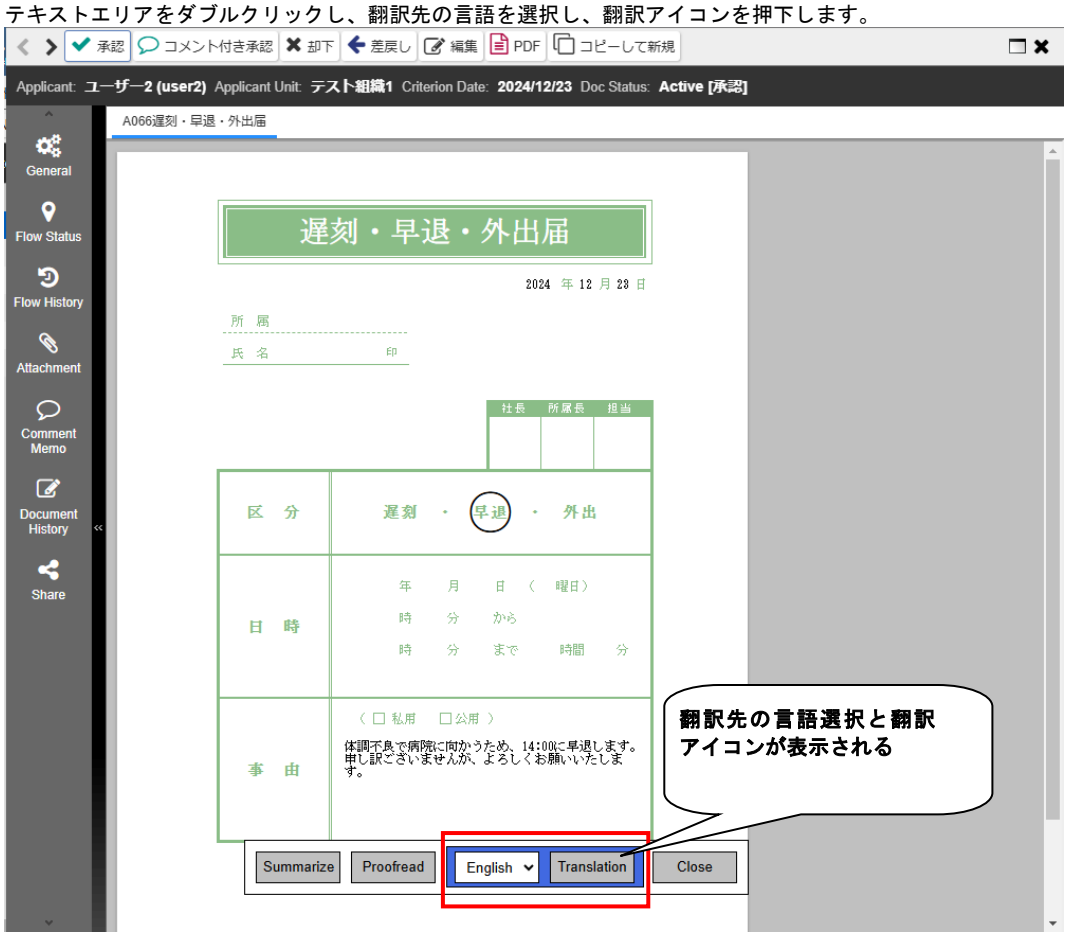
4.1. 翻訳

翻訳の使用方法について説明します。
以下の流れで翻訳を行います。

1) ユーザーサイトからドキュメントビューアを開き、テキストエリアに翻訳前の内容を入力します。



2)　テキストエリアをダブルクリックし、翻訳先の言語を選択し、翻訳アイコンを押下します。



3)　翻訳の内容が表示されます。



4) 「反映」を押下すると、テキストエリアに翻訳後の内容が反映されます。



4.2. 注意点

- 翻訳後の内容が必ず正しいとは限りません。翻訳後の内容が適切であるか判断した上でテキストエリアに反映してください。
- 翻訳機能を短時間でたくさん使用した場合、API レート制限超過のため 400 エラーまたは 429 エラーが発生することがあります。この場合、一定時間翻訳機能を使用しないことで解決します。
- 翻訳プロンプト、翻訳前のテキストエリアのトークン数がそれぞれ多い場合、400 エラーが発生する可能性があります。この場合、プロンプトや翻訳前のテキストエリアのトークン数を減らすことで解決します。
  以下の URL でトークン数を確認することができます。
  https://platform.openai.com/tokenizer
  トークン数 ： 日本語は 1 トークンあたりおおよそ 1 文字、英語は 1 トークンあたりおおよそ 1 単語です。
- 管理サイトの設定項目で以下のように設定すると、翻訳の処理に時間がかかり、タイムアウトが発生する可能性があります。そのため、適切な値を設定してください。
  - 「内容のランダム性(temperature)」の値が大きい（おおよそ 1.2 以上）
  - 「ペナルティ(frequency_penalty)」の値が小さい
- マスタ参照コンポーネントを設定しているテキストエリアの内容を翻訳することはできません。
- 以下の条件を満たす場合、翻訳後の内容がテキストエリアの最大入力文字数を超えるため、エラーが発生する可能性があります。そのため、テキストエリアの最大入力文字数を大きい値に設定してください。
  - テキストエリアの最大入力文字数が小さすぎる
  - 英語で翻訳する
- temperature、top_p、frequency_penalty、presence_penalty についてはサポートされている GPT-4o mini、GPT-4o、GPT-4 のみ適用され、それ以外のモデルについては適用されません。
- 使用しているモデルが削除された場合、機能実行時エラーになります。新しいモデルを管理サイトから設定してください。
- 既に削除されたモデルが設定された状態で管理画面を開くと、以下のアラートが表示されます。
  「$モデル名称$は削除されています。設定されているモデルは保存を押さないと反映されません。」
  この場合、新しいモデルを選択した状態で保存ボタンを押して設定を明示的に保存してください。
- 最大トークン数は下限値まで設定ができますが、ある程度の値でないと回答の表示が行われません。

5. 特記事項

5.1. モデルのコスト

翻訳を使用する場合、使用するモデルによってコストが異なります。
どのくらいコストがかかるのかを確認した上で、使用するモデルを選択してください。

具体的なコストは以下 URL をご確認ください。

・OpenAI
https://openai.com/api/pricing

・Azure OpenAI
https://azure.microsoft.com/en-us/pricing/details/cognitive-services/openai-service/

5.2. タイムアウトの設定

翻訳の処理に時間がかかり、AgileWorks の他の機能が使用できなくなるのを防ぐために、agileworks_system.properties でタイムアウトを設定することができます。設定したタイムアウト値以内に翻訳の処理が終わらない場合はタイムアウトになります。

設定キー	データの型	説明
OpenAI.connect.timeout.millisecond	数値	OpenAI API にリクエストを送信する際に接続タイムアウトを設定することができます。単位は ms です。デフォルトは 5000 です。
OpenAI.read.timeout.millisecond	数値	OpenAI API にリクエストを送信する際に読み込みタイムアウトを設定することができます。単位は ms です。デフォルトは 45000 です。
AzureOpenAI.connect.timeout.millisecond	数値	Azure OpenAI API にリクエストを送信する際に接続タイムアウトを設定することができます。単位は ms です。デフォルトは 5000 です。
AzureOpenAI.read.timeout.millisecond	数値	Azure OpenAI API にリクエストを送信する際に読み込みタイムアウトを設定することができます。単位は ms です。デフォルトは 45000 です。